

『第1回鶴ヶ島百キロウォーク完歩』

制限二十六時間以内で、鶴ヶ島市・高市・越生町・毛呂山町・坂戸市・川島町・川越市(四市三町)を歩く。過酷な歩行距離に挑む。自らの足で非日常の百キロを歩く。自分自身への「心の挑戦」。…という大会に、健康診断オールAであり、四国八十八箇所歩きお遍路経験者である三十半ばの私が、社長と一緒に、**無動力歩行アシストのアルク**を装着し挑戦して来ました。天気は無風の晴れ後曇り。

ゼッケンを付けて街を闊歩していると沿道で、すれ違ふ見ず知らずの人から「頑張つて！頑張っているね！」など声援を頂き、励みになりました。一晩中ぶっ通しで歩く為、夜間は自然と参加者たちが寄り添いチームとなり、地図を懐中電灯で照らしながら「あっちだ、こっちだ。」とコース確認をし、助け合いながら歩きました。

七箇所のチェックポイントでは、ボランティアスタッフの方々が、明るく元気にサポートしてくれました。足の裏に水ぶくれができ、痛がる私に絆創膏をくれました、感謝です。正直フルマソンよりにきつかったです。『頑張っている人がいたら応援してあげる事、困っている人がいたら助けてあげる事』が大事だと改めて思いました。

十月二六日(土)の午前十時にスタートし、翌二七日(日)の午前八時五十五分にゴールすることが出来ました。貴重な経験をさせて頂き有難うございました。

総務・経理課 係長 瀬尾 貴司

『無理は禁物！を実感した日』

百キロ完歩おめでとう！

過酷な百キロ初挑戦で制限時間よりも三時間以上早いゴールは、まさに金字塔を打ち立てたと同然、立派です！自分のこと以上に嬉しく感動しました。小生は十時間経過の約四十キロ坂戸市役所第四CPで精根尽きてのギブアップ、坂戸駅から午後九時頃の電車で帰りました。

日が暮れ夜間行軍となり、高麗川沿い(東上ガス(株)坂戸支店付近)でコースアウトし本部と携帯電話でやり取りしながらコース復帰したものの、坂戸駅北口入り五叉路で矢印板を見逃して二度目の迷子となり、気力が遂に切れました。その瞬間、両膝以外で想定外の右足首と首に、鉛を練り込まれたような重さの鈍い痛みが強く感じ始め、第四CPに到着するや否やしゃがみ込んでしまいました。午後八時六分りタイヤです。

ど根性だけでこの先突き進んでいたら、足腰の健康状態からして病院送りになっていたかも知れず、会社に迷惑を掛けていたに違いありません。「無理は禁物」を実感した次第です。不完全燃焼の自分自身への悔しさ一杯で、再挑戦の気持ちは全く湧きません。最後に当実行委員会および周辺地域ボランティアの皆様には厚く御礼感謝申し上げます。

代表取締役社長 小堀 純一

(備考)

瀬尾係長 一日目98077歩約66km

二日目45938歩約34km

小堀社長 一日目55541歩約40km